

令和7年1月29日

保護者の皆様

王寺町教育委員会
王寺町立王寺義務教育学校長

学校給食用飲用牛乳のストローレス化について

平素より、本町教育活動及び学校給食へのご理解とご協力いただき感謝申し上げます。

近年、プラスチックごみ問題、気候変動問題等への対応を契機として、国内におけるプラスチック資源循環を促進する重要性が高まっています。

令和3年6月には「プラスチックに係る資源循環の促進等に関する法律」が成立し、事業者、消費者、国、地方公共団体等のすべての関係主体が参画し、プラスチックごみの排出の抑制に向けての取組が求められているところです。

こうした状況の中、本町へ牛乳を納入している業者より、令和6年4月から従来の牛乳パックからストローレス対応牛乳パックに変更する旨の通知があり、現在はストローレス対応牛乳パックにて牛乳が納入されています。

この牛乳パックは、従来のものと比べ

○開封しやすいように、軽い力で開封できるように改良されている。

○開封するまで飲み口が外側に露出しない構造にし、衛生面に配慮しているという改良が加えられています。

また、身近な学校給食でのストローレスの取組は全国的に進められています。それはこの取組が、子どもたち自身が主体となって取り組むSDGsの取組であり、学習と実践が結び付いた有意義なものであるからです。

なお、本町においては「王寺町総合計画後期基本計画」でプラスチックごみの削減に町全体で取り組み、持続可能な環境にやさしいまちをめざしているところです。

本町の学校給食においては、これらのことを踏まえ、現在、試行的に給食時のストロー配布を止め、パックを開けて牛乳を飲むよう児童生徒に指導しているところです。そして、令和7年4月からは、全校において、ストローレスの取組を本格実施することとしています。

もちろん、対応が難しい児童・生徒には引き続きストローを提供するなどの配慮をしていきます。ストローの提供については、各学校の担任や教頭等にお問い合わせ下さい。